



※ソフトウェアを立ち上げる前に必ずUSB dongleを差してください 【TeleScript AV 原稿作成上の注意とセットアップの手順】

- ① 先ず最初にデスクトップ上に、**専用フォルダ**を作る（例：2017.6.6- ○□スピーチ、等）
（TeleScript AV 用 **Runlist ファイル**は、元原稿に**ヒモ付け**される為、同じフォルダ内に収納のこと）
- ② 次に原稿（Word）を、**リッチ・テキスト**か **Unicode テキスト**に変換して**専用フォルダに保存**
（テレプロンプター・ソフト上での、文字化けやエラーを避ける為には、Unicode テキストが望ましい）
（オリジナル原稿で、Word のオプション機能や表組などを施したファイルは、読み込み出来ない）
（.rtf や .txt に変換した**ファイル名**の頭などに、日付、プロンプタ原稿～等を付けて、元原稿との混同を回避）
- ③ デスクトップ画面にある、TeleScript AV のアイコンをダブルクリックして起動
- ④ TeleScript AV 起動中に、Runlist ダイアログ画面が表示されるが、（ここでは）**閉じる**
- ⑤ 起動後、TeleScript AV 画面・上部のメニューバーの“File” から **“Open”** をクリックして
- ⑥ 専用フォルダに入れて置いた、**リッチ・テキスト**か **Unicode テキスト**の原稿を選択して開く
- ⑦ 上部のメニューバー “Format” から “Inverse” をクリックして、画面を黒背景の白文字表示にする
- ⑧ TeleScript AV に読み込んだ原稿を、上部にあるエディット用メニューバーで**編集**
（変更部分を選択し、フォント／サイズ／色／太字／下線／行間設定／ Book Mark セット、など）
※ 推奨フォントサイズ：48、 推奨フォント：ゴシック系 ※ MS ゴシック以外では改行ズレが生じる可能性があります
- ⑨ 終了後、メニューバーより **Save as...** を選び、名前を付けて専用フォルダに保存
（上記の保存作業の際、2 度ほど確認用のダイアログが現れるが、両方とも「はい」を選択する）
（次回以降の**上書き保存**は、Save : **Ctrl + S** で OK）
（幾つもファイルを読み込んでいる場合は、修正の後、そのファイル毎に、Ctrl + S で Save する）
- ⑩ 以上で準備完了、キーボードの **F5 キー**でプロンプター・モードに移行・操作開始
（再び編集モードに移行したい時は、キーボードの **F3 キー**を押して切替える）
- ⑪ 終了するには、メニューバーの File から **Exit** を選ぶか、ウィンドウを直接閉じる
（その動作中に表示されるダイアログ画面「Save Runlist before closing?」については、再生リストとして複数文章を登録しており保存する際は、「はい」を選択する
※原稿を別の PC で動作させるには、フォルダごと別 PC へ移動させ、**再度③～⑧を実施**する！

【編集・保存済み TeleScript AV の Runlist ファイルの再起動】

- ① TeleScriptAV を起動し、上部のメニューバーの“File” から “Load Runlist” をクリック
名前を付けて専用フォルダ内に保存した Runlist ファイル (.trl) を選択して開く
- ② その Runlist ファイル内に複数のスクリプトが保存されている場合は、全て再現される
- ③ 改めて編集やその後の保存を行う場合は、上記⑦～⑩と同様の作業を行う

【コントローラー操作】

Telescript の 10 ボタンシリアルハンドコントローラーは、プロンプター（起動、停止、スクロール速度）をすばやく制御し、スクリプト、ブックマーク、メモリマーカー、色の反転をすばやくナビゲートします。

ボタン	説 明
 KNOB	スクロール速度を制御します。ノブを時計回りに回すと、順方向のスクロール速度が上がります。ノブを反時計回りに回すと、後方にスクロールします。ノブを中央の「ゼロ点」からさらに回すほど、その方向の速度が増加します。
[↑]	プロンプターの一番上の行を前のブックマークに移動します。
[↓]	プロンプターの一番上の行を次のブックマークに移動します。
PRV	Runlist の前のスクリプトをスクリプトウィンドウにロードします。
NXT	Runlist の次のスクリプトをスクリプトウィンドウに読み込みます。
RCL	プロンプターを最後のメモリマーカーセットに呼び出します。メモリマーカーが設定されていない場合はスクリプトの TOP に呼び出します。
GREEN	プロンプターのスクロールを開始します。速度と方向は、前述のようにノブの位置によって異なります。「▶」はプロンプターのステータスを示します。黄色「▶」は「一時停止」で、緑色「▶」は「スクロール」します。
MEM	ウィンドウ上部の行に MEMORY マーカーをドロップします。
RED	スクロールを停止します。「▶」は赤くなり、停止していることを示します。
BLUE	ウィンドウ上部の行の先頭にブックマークを挿入します。
BLACK	現在の Window 色を白黒反転します。

